

全 仏

~~~~~

No. 360

1990. 8



春見文勝臨濟宗妙心寺派管長(本会会長)  
の晋山式 (5月23日・京都)

—撮影 Don Farber



財団  
法人

全日本仏教会

JAPAN BUDDHIST FEDERATION

# 全仏理事会ひらく

本会の理事会が、去る五月二十九日午後二

時から、京都グランドホテルで開催された。

白川理事長の導師で三帰依文を唱和、挨拶につづいて、議長に白川理事長、議事録署名人に小倉宗徳、江連俊則の両師を選んで議事に入った。

議案第一号「平成元年度事業報告の承認を



京都グランドホテルで開かれた理事会

求める件」

白川理事長より上程。川島総務部長が詳細を説明、原案通り承認された。

議案第二号「平成元年度歳入歳出決算の承認を求める件」

白川理事長より上程。岡山財務部長が説明。つづいて師田賢説監事が監査報告を行った後、原案通り承認された。

議案第三号「各種委員会委員の承認を求める件」

白川理事長より上程。川島総務部長が説明。ルンビニー委員会、国際委員会の両委員会委員、すでに承認されている税務委員会、信教の自由に関する委員会の両委員会の一部委員の変更が、原案通り承認された。

議案第四号「ルンビニー園マヤ堂修復実施計画について承認を求める件」

白川理事長より上程。久米原国際文化部長と川井匡俊ルンビニー委員長が、ルンビニー園マヤ堂修復実施計画について、最終的な実施計画案を説明。

出席者から活発な質問、意見が出された後、原案通り承認された。

## 報告事項

### ① 同和委員会報告

② 事務総局各部報告  
資料に基づいて、それぞれの担当者から報告が行われた。

## 第一回税務委員会

本年度の第一回税務委員会が、六月十四日午後一時から、明照会館会議室で開催され、左記の事項が審議された。

① 委員長・副委員長選出の件

委員長に伊井智昭（浄土真宗本願寺派）、副委員長に志村慎吾（神奈川県仏教会）の両師が選出された。

② 税制改正に対する要望書の件

本年も、例年通り「税制改正に対する要望書」を提出することが確認された。

③ 諸外国の宗教法人税制研究会の件

帝京大学講師の石村耕治氏を講師に、研究会を開催することが承認された。

④ 法人運営の件

本委員会が作成した「財務手引書」三部が、その後の社会情勢の変化により、実情にそぐわない面が出てきたと予想されるため、各委員が宗派等における諸問題を調査することが確認された。

⑤ その他

日宗連主催による「第七回宗教と税制シンポジウム」に協力することが承認された。

# 自民党と懇談会

六月七日午前十時から、東京・永田町の自民党本部で、本会と同党文教関係議員の懇談会が開催された。

この会は、仏教界の要望を幅広く聞きたいという、自民党の呼びかけで開かれたもので、白川理事長、石上事務総長をはじめ、各宗派の代表者が出席した。

懇談会は、町村信孝党文政局長の開会挨拶に始まり、渡辺秀央全国組織委員長、加藤六月政調会長ら党の役員が次々に挨拶を行った。本会からは、最初に白川理事長が挨拶、つづいて石上事務総長が、現在の仏教界が置かれた状況を説明した後、①「公職選挙法」改正にかかわる政治家の寄付禁止について、②ルンビニー園復興について、③税制改正について、④墓地の改葬手続き簡素化について、⑤教育を巡る諸問題について、の五点について要望を行った。

その後、懇談に移り、本会顧問弁護士長の谷川正浩師が、特に①に問題について、政治家の寺院に対する一切の寄付禁止は、仏教に

おける布施（「財施」）の精神を根拠から否定するものであり、ひいては「信教の自由」を侵す恐れがあることを詳細に説明、「公職選挙法」の再改正を、強く要望した。

さらに各出席者から、事務総長が行った要望事項以外のものとして、文化財保護の実情、末期医療への取り組み等、様々な課題に対する問題提起が行われた。

最後に、加藤政調会長が、「皆さんの要望にできる限り応えるよう検討を進める」と結んで、閉会となった。

なお、本会からの主な出席者は次の通り。

山崎正道曹洞宗財政部長、酒生文彦浄土真



宗本願寺派総務、山口阿仙真宗大谷派総務部長代理、川井匡俊浄土宗財務局長、柴田和延日蓮宗庶務課長、新居祐政高野山真言宗総務部長、北折玄昭臨濟宗妙心寺派東京宗務出張所長、師田賢説天台宗総務室長、舛田順明真言宗智山派総務部長、田嶋信雄真言宗豊山派総本山長谷寺東京出張所長。

## 信教の自由に関する委員会

第一回信教の自由に関する委員会は、六月二十七日午後二時から、明照会館会議室で開催された。

議題① 正副委員長の選出について

委員長に真宗大谷派の安原晃師を、副委員長に真言宗豊山派の高橋辰興師を選んだ。

議題② 「大嘗祭」について

参考人として出席した、駒沢大学教授・洗建氏から、今秋に予定されている「大嘗祭」が、信教の自由に関して内包する問題点について、詳細な説明を受けた。その後、出席者から様々な質問、意見が出された。

議題③ 本年度の活動方針について

本年も「首相及び閣僚の靖国神社公式参拝中止の要請」を内閣総理大臣に対して提出することになった。文案は、昨年提出した「要請」の字句を一部修正して、事務局で作成することになった。

## 都道府県仏教会代表者会議



都道府県仏教会代表者会議（東京グランドホテル）

拶につづいて、新潟県仏教会会長の中村啓啓師を座長に選出、議事に入った。

### ①第三十四回全日本仏教徒会議について

野生司社会部長から、本年九月十一日に開催される、第三十四回全日本仏教徒会議大阪大会についての報告があり、つづいて大阪府仏教会副会長の増田貞圓師が、これまでの経緯を含め詳細な説明を行った。

### ②税制改正の動向について

川島総務部長が、消費税の今後の見直し等、税制改正の動向について報告した。

その後、出席者から各地における税務調査の現況等について、活発な意見が出された。

### ③同和推進について

本会同和委員会副委員長の伊東俊彦師が、活動報告と協力の要請を行った。

### ④公職選挙法改正に伴う、政治家の寄付禁止について

野生司社会部長が、本年二月一日から施行された公職選挙法の改正について報告、長谷川正浩顧問弁護士が詳細な説明を行った。

### ⑤第十七回世界仏教徒会議について

久米原国際文化部長が、本年十月に第十七回世界仏教徒会議が、韓国で開催される予定

である、との報告を行った。

⑥ルンビニー園復興事業の推進について  
久米原国際文化部長が、本会が進めるルンビニー園マヤ堂修復実施計画について報告、勧募活動への協力を要請した。

会議終了後、同ホテルで懇親会が開かれた。

## 第一回国際委員会

本年四月に国際委員会が設置されて第一回目の会合が、去る六月二十九日午後二時から、明照会館会議室で開催された。

白川理事長の挨拶につづいて、正・副委員長の選出に入り、委員長に舛田順明（真言宗智山派）、副委員長に松濤弘道（浄土宗）の両師が選出された。

その後、本委員会の今後の活動方針等について審議がなされた。

## 杜多徳雄師を囲む会

本会事務総局に二十二年間にわたって奉職され、去る三月に退職された杜多徳雄前国際文化部長を囲む会が、六月十三日東京プリンスホテルで開催された。これは杜多師の長年のご苦勞に感謝するため、白川理事長が呼び掛けたもので、当日は約七十名の関係者が出席、なごやかな懇談のうちに、杜多師の新しい出発を祝った。

去る六月二十日午後二時から、平成二年度の都道府県仏教会代表者会議が、東京グランドホテルで開催された。  
石上事務総長の導師で三帰依文を唱和、挨拶

## 刊行

## 宗教法人の法律相談

このたび、社団法人・民法情報センターから刊行された『宗教法人の法律相談』は、宗教法制研究会が昭和五十五年に発足されて以来、十年にわたる研究成果をまとめたものです。

本書は、日常的に起こり得る、宗教法人をめぐる諸々の法律問題を、質問応答形式でわかりやすく

解説し、具体的な対処方法まで示した実用書であると同時に、全体を通じては、深い法律解釈と、これまでの判例等の、多大な研究エッセンスがまとめられた専門書でもあります。

執筆には、本会顧問弁護士長の長谷川正浩先生を始め、二十一名におよぶ専門家が当っており、主な目次をあげれば、次の通りです。

- 宗教法人としての寺院
- 宗教法人の管理・運営
- 宗教法人の財産管理
- 宗教法人と墓地
- 宗教法人と事業
- 税務調査の受け方と信仰との関係

以上のように本書は、宗教法人関係者の日常の手引書として、活用されることを意図しており、各教団、県仏教会の役職者はもちろん、すべてのご住職方に必読の書といえます。

なお、この本に関しますお問い合わせ等は、全仏の事務総局までどうぞ。一般の書店でももちろん手に入りますが、本会を通しますと、定価（六二〇〇円）の一割引になります。

## 出版記念パーティー

去る六月二十五日午後六時から、『宗教法人の法律相談』出版記念パーティーが、東京・四谷の主婦会館で開催された。

会場は、宗教法制研究会の会員をはじめ、仏教界関係者、学会、法曹会等から百人を超える出席者であふれ、なごやかな懇談がつついた。

野生司社会部長の司会で、最初に本会の白川理事長が開会の挨拶を行い、乾杯の後、各界の代表者から、次々に祝辞が述べられた。

最後に、この研究会の世話人でもある長谷川正浩弁護士が、研究会の活動を、今後一層活発に行っていきたいと挨拶し、二時間にわたるパーティーの幕を閉じた。

なお、宗教法制研究会に関するお問い合わせは、東京都新宿区新宿一―一九―六の二〇五 長谷川法律会計事務所 ○三―三五二―四五五四まで。

## 『事務局録事』

―六月―

- 一日 大阪花博ネパールデー出席
- 四日 局内会議
- 五日 木辺宜慈木辺派門主本葬儀参列
- 七日 自民党文教関係議員との懇談会
- 八日 宗教法人セミナー（福岡）
- 十一、十二日 同宗連研修会出席
- 十四日 竹村教智智山派管長本葬儀参列
- 十五日 税務委員会
- 十五日 全青協墨跡展出席
- 十五日 局内会議
- 十九日 日宗連理事会
- 二十日 都道府県仏教会代表者会議
- 二十一日 同和委員会・研究会
- 二十二日 局内会議
- 二十三日 部落解放研究所宗教部会出席
- 二十七日 信教の自由に関する委員会
- 二十九日 国際委員会
- ―七月―
- 一日 総持寺差別戒名追善法要参列
- 九日 局内会議
- 十八日 同和委員会
- 十九日 局内会議
- 二十日 福岡県仏教連合会総会出席
- 二十二、二十八日 ネパール現地調査
- 二十三、二十九日 国際親善訪タイ団参加
- 三十日 局内会議

# 暑中御見舞い申し上げます

## 曹洞宗宗務庁

|      |       |
|------|-------|
| 管長   | 梅田信隆  |
| 宗務総長 | 藏山光堂  |
| 参議   | 田邊哲崖  |
| 参議   | 岡田巳成  |
| 教学部長 | 来馬規雄  |
| 総務部長 | 細川祐葆  |
| 財政部長 | 山崎正道  |
| 伝道部長 | 前田昌範  |
| 教化部長 | 石塚良光  |
| 出版部長 | 本田兼康  |
| 人事部長 | 佐々木孝一 |

東京都港区芝一―五―二  
〒105 〇三(四五四)五四二一

## 浄土真宗本願寺派

|    |       |
|----|-------|
| 総長 | 藤音晃祐  |
| 総務 | 松村了昌  |
| 同  | 酒生文彦  |
| 同  | 爪田一貫  |
| 同  | 佐々木文雄 |
| 同  | 伊井智昭  |

京都市下京区堀川通花屋町下ル  
本願寺門前町  
〒600 〇七五(三七一)五一八一

## 真宗大谷派

|      |       |
|------|-------|
| 宗務総長 | 細川信元  |
| 参務   | 上野諦   |
| 同    | 村上耕二  |
| 同    | 祖父江照道 |
| 同    | 調紀    |
| 同    | 武田昭龍  |

京都市下京区烏丸通七条上ル  
常葉町七五四  
〒600 〇七五(三七一)九一八一

## 浄土宗宗務庁

|           |      |
|-----------|------|
| 浄土門主      | 藤井實應 |
| 宗務総長      | 大田秀三 |
| 総務局長      | 吉田昭炳 |
| 教学局長      | 牧達雄  |
| 財務局長      | 川井匡俊 |
| 社会局長      | 福田泰道 |
| 同和推進事務局長  | 福田泰道 |
| 東京事務所長    | 成田有恒 |
| 総長公室長     | 山田瑞祥 |
| 同和推進事務局参与 | 蓮池瑞旭 |
| 出版室長      | 松浦行真 |

京都市東山区林下町四〇〇―八  
〒605 〇七五(五二五)二二〇〇  
(東京事務所)  
東京都港区芝公園四―七―四  
〒105 〇三(四三六)三三五一

# 暑中御見舞い申し上げます

## 日蓮宗宗務院

|                 |         |
|-----------------|---------|
| 管 長             | 岩 間 日 勇 |
| 宗務 総長           | 伊 藤 通 明 |
| 宗務 副総長          | 佐 藤 光 春 |
| 綜 合 企 画 部 長     | 岩 間 湛 正 |
| 庶 務 部 長         | 二 宮 将 泰 |
| 財 務 部 長         | 田 中 恵 康 |
| 教 務 部 長         | 石 井 隆 教 |
| 護 法 道 部 長       | 石 川 浩 徳 |
| 現 代 宗 教 研 究 所 長 | 石 川 教 張 |
| 参 与             | 白 部 健 順 |
| 参 与             | 岡 部 法 順 |
| 日 蓮 宗 新 聞 社 社 長 | 菊 地 泰 瑞 |

東京 都 大 田 区 池 上 一 三 三 一 一 五  
〒146 〇三(七五)七一一八  
FAX 〇三(七五)七一一八六

## 総本山金剛峯寺 高野山真言宗宗務所

|             |           |
|-------------|-----------|
| 座 主         | 阿 部 野 竜 正 |
| 管 長         | 徳 富 義 孝   |
| 執 行 宗 務 総 長 | 新 居 祐 政   |
| 執 務 部 長     | 資 延 敏 雄   |
| 教 学 部 長     | 中 山 弘 之   |
| 財 務 部 長     | 山 岸 榮 岳   |
| 執 行 法 会 部 長 | 楠 公 延     |
| 執 行 山 林 部 長 | 近 藤 寛 玄   |
| 同 和 局 長     |           |

和歌山 県 伊 都 郡 高 野 山 一 三 三 一  
〒648-02 〇七三六(五六)二〇一一  
高野山 東 京 別 院  
主 管 壽 山 良 知  
高野山 弘 法 大 師 奉 賛 会  
東 京 事 務 所 長 富 家 海 信  
東 京 都 港 区 高 輪 三 一 一 五 一 一 八  
〒108 〇三(四四)三三三三八

## 臨済宗妙心寺派 宗務本所

|               |         |
|---------------|---------|
| 管 長           | 春 見 文 勝 |
| 宗務 総長         | 小 倉 宗 徳 |
| 總 務 部 長       | 和 久 弘 昭 |
| 教 学 部 長       | 馬 場 宗 信 |
| 財 務 部 長       | 本 多 道 一 |
| 花 園 会 本 部 会 長 | 木 村 潮 音 |
| 法 務 部 長       | 澁 谷 厚 保 |

京 都 市 右 京 区 花 園 妙 心 寺 町  
〒616 〇七五(四六)三三二二

## 天台宗務庁

|           |         |
|-----------|---------|
| 宗務 総長     | 多 紀 穎 信 |
| 参 務 部 長 務 | 粒 田 宏 祥 |
| 参 務 部 長 務 | 吉 田 正 賢 |
| 参 務 部 長 務 | 山 田 能 裕 |
| 社 会 部 長 務 | 高 松 義 寛 |
| 總 務 室 長   | 師 田 賢 説 |

大 津 市 坂 本 四 丁 目 六 番 二 号  
〒520-01 〇七七五(七九)〇〇三二

# 暑中御見舞い申し上げます

真言宗智山派宗務庁  
総本山智積院法務所

管 長 藤 井 龍 心

宗務 総長 石 川 良 泰

執 務 部 長 舛 田 順 明

執 教 学 部 長 大 塚 正 見

執 教 化 部 長 安 部 隆 完

執 法 務 部 長 佐 藤 良 盛

執 財 務 部 長 桑 澤 宥 康

出 張 所 長 花 木 義 光  
別 院 執 事

京都市東山区七条下ル

東瓦町九六四

〒605〇七五(五四一)五三六一―一二

七八九七

真言宗豊山派宗務所

管 長 中 川 祐 俊

宗務 総長 鈴 木 常 俊

總務 部 長 鳥 居 慎 誉

教 務 部 長 小 野 塚 幾 澄

財 務 部 長 杉 本 亮 一

教 化 部 長 高 橋 辰 興

總 合 教 化 研 究 所 局 長 市 橋 俊 昭

興教大師八百  
五十年御遠忌  
記念事業委員  
会事務局 長

鈴 木 道 雄

東京都文京区大塚五―四〇―八

〒112 〇三(九四五)〇六三九

総本山仁和寺  
真言宗御室派宗務所

管 門 長 跡 松 村 祐 澄

執 行 宗 務 総 長 田 中 純 應

總 務 部 長 行 不 破 光 順

執 教 学 部 長 行 福 島 智 秀

執 財 務 部 長 行 堀 川 和 海

華 務 部 長 手 嶋 千 俊

京都市右京区御室大内三三三

〒616 〇七五(四六一)一一五五

FAX 〇七五(四六四)四〇七〇

顕本法華宗

管 長 古 瀬 日 字

宗務 総長 吉 永 正 晴

宗務 次長 山 田 信 正

布 教 部 長 山 本 学 人

財 務 部 長 飯 沢 道 宣

教 務 部 長 平 田 浄 応

庶 務 部 長 島 田 幸 晴

社 会 部 長 田 島 敏 義

京都市左京区岩倉幡枝町九一

妙満寺

〒606 〇七四(七九一)七一七一

# 暑中御見舞い申し上げます

|                                                                                             |                                                    |                                           |                                              |                      |                                                                       |                   |          |         |        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|-------------------------------------------|----------------------------------------------|----------------------|-----------------------------------------------------------------------|-------------------|----------|---------|--------|
| 〒231 横浜市中区大平町九六<br>西有寺内                                                                     | 事務局長 本間孝康                                          | 同 大井重忠                                    | 同 柳下隆侃                                       | 同 横山敏明               | 副会長 小崎竜雄                                                              | 会長 福永隆昭           | 神奈川県仏教会  |         |        |
| 〒790 松山市石手二一九一<br>地藏院内                                                                      | 役員一同                                               | 會計 松本信見                                   | 事務局長 水崎章元                                    | 同 河野晃照               | 監査 吉川俊宏                                                               | 同 中村在康            | 副会長 村中成信 | 会長 海頭廣文 | 愛媛県佛教会 |
| 〒604 京都市中京区新京極桜之町四五三<br>宗務総長 鶴飼慶範                                                           | 管 長 桜間親刹<br>宗務総長 鶴飼慶範<br>浄土宗<br>総本山誓願寺<br>西山深草派宗務所 | 〒538 大阪市鶴見区緑三十四一三二<br>〇六(九一)二二〇一          | 燈主 小倉靈現                                      | 念法真教団<br>総本山金剛寺      | 〒616 京都市右京区嵯峨大沢町四<br>〇七五(八七)〇〇七一<br>門 跡 井上紀生<br>管 長 岡田高功<br>事務総長 岡田高功 | 真言宗大覚寺派<br>大本山大覚寺 |          |         |        |
| 〒590-04 大阪府泉佐野市大木八<br>〇七(四(五九)七〇四三<br>修験道部長 林宝泉<br>修験道部長兼財務部長 東條仁哲<br>宗務総長 帶盛竜心<br>管 長 東條仁進 | 真言宗大鳴派<br>大本山七宝滝寺                                  | 〒765 香川県善通寺市善通寺町<br>三(三一)一<br>〇八七七(六二)〇一一 | 管 長 蓮生善隆<br>法主 蓮生善隆<br>宗務総長 加藤勝真<br>執行長 加藤勝真 | 真言宗善通寺派宗務庁<br>総本山善通寺 | 〒221 横浜市神奈川区鳥越三八<br>〇四五(四三)二二〇一<br>副 統 理 岡野鄰子<br>統 理 岡野正貫             | 孝道教団              |          |         |        |

# 暑中御見舞い申し上げます

財団法人  
埼玉県佛教会

会 長 江 連 俊 則  
副 会 長 河 野 亮 永  
同 酒 井 文 雄  
専務理事 目 黒 靖 淳  
常務理事 萩 野 映 明  
同 鶴 岡 幹 夫  
同 勝 山 良 盛  
同 増 田 定 栄  
事務局 長 北之内 真 龍  
浦和市高砂四―一三一―一八  
〒336 ○四八(八六一)二二二三八 埼玉会館

静岡県仏教会

会 長 猪 俣 顕 忠  
副 会 長 伊 村 隆 恵  
同 伊 藤 義 昭  
同 石 上 博 貫  
同 長 谷 川 義 雄  
浜松市松島町三五〇 祐泉寺内  
〒432 ○五三四(二五)二二四五

浄土宗総本山  
知 恩 院

門 跡 藤 井 實 應  
執 事 長 寺 本 哲 榮  
内 局 一 同  
京都市東山区林下町四〇〇  
〒605 ○七五(五三二)二二一一

千葉県仏教会

会 長 長 瀬 日 還  
理 事 長 山 田 勝 義  
千葉市川市中山二―十一―一  
大本山 法華経寺内  
〒272 ○四三四(三四)三四三三

大雄山最乗寺

山 主 余 語 翠 巖  
紀 綱 阿 部 顕 瑞  
副 寺 豊 島 健 生  
外 役 寮 一 同

神奈川県南足柄市大雄町一―一五七  
〒250-01 ○四六五(七四)三二二一

本門佛立宗  
本山宥清寺

講 有 梶 本 日 齋  
宗 務 総 長 井 上 日 慶  
京都市上京区御前通一条上ル  
東堅町一―一〇  
〒602 ○七五(四六一)一六六

曹洞宗大本山總持寺

貫 首 梅 田 信 隆

横浜市鶴見区鶴見二―一―一  
〒230 ○四五(五八)六〇二二

全日本仏教会副会長  
浄土宗西山禅林寺派  
總本山永観堂禅林寺

法 管 主 長 丹 羽 観 堂

京都市左京区永観堂町四八  
〒606 ○七五(七六一)〇〇〇七

曹洞宗大本山永平寺

貫 首 丹 羽 廉 芳

福井県吉田郡永平寺町  
〒910-12 ○七七六(六三三)二一〇八

# 暑中御見舞い申し上げます

## 京都仏教会

会長 東伏見 慈 洽

理事長 有馬 頼 底

常務理事 大島 亮 準

同 清 瀧 智 弘

同 荒 木 元 悦

京都市上京区今出川通烏丸東入  
相國寺門前町六八四―一  
〒602 〇七五(二二三)六九七五  
FAX 〇七五(二二三)六九七六

## 岐阜県仏教会

名誉会長 谷 耕 月

顧問 間 杉 山 令 肇

全日仏理事 龍 俊 美

会長 長 加 納 博 司

副会長 泉 信 潤

同 野 村 正 之

同 青 木 秀 英

理事長 竹 市 周

岐阜市 寺 町 研 山

事務局 松 波 高 義

岐阜市西野町三一―一  
本願寺岐阜別院内  
〒500 〇五八(二六六)七八〇三

## 大本山 護 國 寺

貫主 小林 良 弘  
執事 岡 本 永 司  
院代 上 谷 良 祐

東京都文京区大塚五―四〇―一  
〒112 〇三(九四一)〇七六四  
〇七六五  
八七〇六

### 財団法人

### 国際仏教興隆協会

名誉総裁 春 見 文 勝  
理事長 稲 田 稔 界  
印度山 森 寛 紹  
日本寺主 役員 一 同

東京都目黒区中目黒五―二四―一  
五三 祐天寺内  
〒153 〇三(七一)七六〇八

### 社団法人

### 全日本仏教婦人連盟

会長 山 本 杉

理事 一 同

### 事務局

東京都豊島区北大塚二―一―一  
大塚プラザビル七F  
〒170 〇三(九一〇)一二八九

## 大本山 成田山 新勝寺

貫首 鶴 見 照 碩  
千葉県成田市成田一  
〒286 〇四七六(二二)二二一一

### 真言宗 須磨寺派 大本山 須磨寺

管長 小 池 義 人

神戸市須磨区須磨寺町四六八  
〒654 〇七八(七三二)〇四二六

### 日光山 輪王寺

門跡 荻 原 貞 興  
執事 長 菅 原 栄 光

栃木県日光市山内三三〇番地  
〒321-14 〇二八(五四)〇五三一

### 新潟県 仏教会

会長 中 村 啓 識

長岡市上田町 徳聖寺内  
〒940 〇二五八(二三)一五八六

### 真理 舎

主管 友 松 諦 道  
東京都千代田区外神田三―四―一〇  
神田寺内  
〒101 〇三(二五一)八八四二

# 暑中御見舞い申し上げます

真言宗豊山派  
総本山長谷寺

化主 中川 祐俊

事務長 田中 量賢

教務執事 佐藤 智仙

財務執事 岩田 秀孝

総務執事 蓮 俊孝

法務執事 林 亮弘

執事 東京出張所 田嶋 信雄

奈良県桜井市初瀬七三二一  
〒633-01 〇七四四(七)七〇〇一

西新井 大師

總持 寺

東京都足立区西新井 一―一五―一  
〒123 〇三(八九〇)二三四五

新義真言宗

管長 広沢 純孝  
宗務総長 星 慶岳

東京都文京区湯島四一六一二  
〒112 〇三(八一四)三四六四  
湯島ハイタウンB一―二―一

財団法人

日本佛教鑽仰会

理事長 中山 静麿

東京都港区赤坂二―八―一五―一  
〒107 〇三(五八四)九三二〇  
四〇三

真言宗中山寺派

大本山 中山寺

兵庫県宝塚市中山寺二―十一―一  
〒665 〇七九七(八六)六五一七

福岡県仏教連合会

会長 黒田 英之

北九州市小倉北区三萩野 二―八―二三 西蓮寺内  
〒802 〇九三(九二一)四五七六

全日本仏教青年会

理事長 佐藤 功岳

横浜市中区大平町九四 大円寺内  
〒231 〇四五(六四一)四九三三

## 寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9 (地下鉄田原町駅前)  
電話 代表(841) 4965

## 日本の心を伝える



寺院内陣莊嚴・仏具納骨堂工事

はせがわ

西日本本部/福岡市博多区博多駅前日生ビル ☎092(472)1621(代)

東京本部/東京都中央区銀座共同ビル新銀座 ☎03(541)3891(代)

寺院専門工場 横浜谷川仏具工事/直方市大字中東明日香台 ☎09492(4)7211(代)

## 第17回

## 世界仏教徒会議ソウル大会

90年10月21日～25日

## 参加者募集

第十七回世界仏教徒大会（WFB大会）は、来たる十月二十二日から、韓国のソウル市で開催されます。

韓国で初めて開催されるこの大会に、WFB日本センターである全日本仏教会からは、春見文勝会長（臨濟宗妙心寺派管長）をはじめ、各宗派・都道府県仏教会から、多数の代表者が出席する予定です。

本会では、一人でも多くの方にこの大会へご参加いただき、世界各国の仏教界代表者と友好をはかり、韓国の仏教徒と親善を深めていただきたく、左記の要領で「WFBソウル大会参加・韓国五日間の旅」を企画いたしました。

WFB大会参加後、俗離山や慶州の仏跡を訪問するこの旅行へ、ぜひお誘い合わせご参加いただきますよう、ご案内いたします。

旅行期間 十月二十一日～二十五日

募集人員 百二十名

費用 東京発 十五万四千円

大阪発 十五万一千円

締め切り 九月末日

申込み先 日本旅行池袋海外旅行支店

〇三一九八六一三三二一

問い合わせ 本会国際文化部までどうぞ

## 人類を宇宙におくりこんだ科学が、いま、金融を変える。



## 分析に科学を。予測に科学を。投資に科学を。

勤や経験だけに頼る時代から、  
科学手法を応用する時代へ。  
いま、金融の世界は大きく変わろうとしています。  
その最先端をゆくのが山一の「情報科学」です。  
地球を駆けめぐる金融の流れは、  
情報とその分析、さらに予測により決定されます。  
山一では高度な金融理論と最新の  
コンピュータテクノロジーを駆使して対応。  
投資においては管理されたリスクのもとで  
最大のリターンをめざしています。  
山一の「情報科学」は、  
さまざまな商品の開発に役だっている他、  
金融のあらゆるニーズにお応えしています。  
「情報科学」。これからの山一と  
金融を語るキーワードです。

情報・科学

山一証券

〒104 東京都中央区八重洲2の4の1  
☎(03)276-3181(代表)

## 第八回「業・旃陀羅問題」研究会

## インド密教における旃陀羅

高野山大学教授 松長有慶

第八回「業・旃陀羅問題」に関する研究会が、去る六月二十一日の午後一時から、真言宗豊山派宗務所会議室で開催された。高野山大学教授・松長有慶師が、「インド密教における旃陀羅」と題して、要旨次のような講演を行った。終了後、出席者から活発な質問、意見が出された。

私はインドの旃陀羅の問題について、一応自分の専門領域から勉強したいと考えており、『大正大藏経』の密教部（第十八、二十一巻）を中心に、その中に現われている旃陀羅についての問題点を拾い出してみるということから始めました。

密教経典の中の旃陀羅問題について整理したものを、大体系統的に分けると、A、B、Cの三種類になると思います。Aは、旃陀羅の差別そのものを、もろに打ち出している箇所、Bはいわゆる精霊とか鬼神というようなものと同一視する傾向の箇所、Cは旃陀羅に

対する救済論、旃陀羅こそ救われるんだという考え方が仏教の中に出て来ているものです。釈尊が、四姓の平等を説かれたといながら、仏教教団が社会的な存在として発展していく間に、ヒンドゥー社会の制度を借用し、あるいはそれを取り入れ、この旃陀羅差別の問題をそのまま引き継ぐという形を取っていることは、皆様もご承知と思います。

そこです。Aですが「無垢浄光大陀羅尼経」に、「死んだら地獄に行つて、次に旃陀羅の身を受ける、そしてその後、又、後生において猪の身体を受ける」というような表現があります。これは唐の時代に翻訳された経典ですが、こういう形で旃陀羅を非常に差別した、卑しめた表現がもろに出て来ている部分です。あるいは、いろいろな形を説明している時に、非人身というのが、悪旃陀羅状というような表現で、不空訳の「補陀洛海会軌」というのに載っております。

また仏教には、火難・水難・財難というよ

うな十ないし二十の恐ろしい難があります。その中に、旃陀羅の恐れというような表現が、やはり不空訳の「大宝広博楼閣善住秘密陀羅尼経」にある。さらに菩提流支訳の「不空罽索経」に「旃陀羅は諸仏が見捨てて、今生で成仏せず、過去世の善根が焼け、後世の善根も壊れる」というような、凄まじい差別表現があります。

次に旃陀羅に近づかない、という表現です。まず戒律としてこれを避けるんだ、という考え方が「根本説一切有部毘奈耶雜事」とか、「十誦律」とか「法華経」とか「瑜伽師地論」なんかにも出てくる。比丘たる者は交渉を持つてはいけない者として五旃陀羅という表現が「大聖妙吉祥菩薩説除災教令法輪」に出てくるし、行者が食べてはならないのは旃荼羅家の食事だということが、「一字頂輪王経」とか「陀羅尼集経」の中に出てきます。

密教経典の中の特異なものとして、夢占いをする時に、旃陀羅を見たら障碍があるから成就しない、そういう不吉な夢を見た時、真言によってそれを転換させるんだということが「観自在菩薩最勝明王心経」というような経典の中に現れてきます。

第二にBですが、インド人は、仏教がおこるずっと以前から、自分達にいろいろな災がおこる、病気になるったり、不意に死んだり、



講演される松長教授

不幸が訪れたりするのは、精霊や鬼神のせいだ、という信仰を持っておりました。「六字呪王経」とか「阿吒薄俱元師大將上仏陀羅尼経修行儀軌」とか「請觀世音菩薩消伏毒害タラニ呪経」をみると、精霊とか鬼神の名前の中に、旃陀羅が入ってきます。

全 仏  
天、龍、夜叉、羅刹、餓鬼……、沙門、婆羅門、羅刹、吠舎、首陀羅、その次に、摩登伽、摩登伽女、旃陀羅、旃陀羅女と出てくるわけです。「阿吒薄俱元師大將上仏陀羅尼経修行儀軌」の中にもたくさん鬼神の名前が並んでいて、この中にも摩登伽とか旃陀羅が

出てくる。

一方、「玉蔵神大明曼荼羅儀軌経」「蘇悉地経」には、鬼神がかえって行者を擁護するといふような表現も出てきます。さらに精霊とか鬼神とか旃陀羅等に、帰依して崇拜するという考え方、そしてその持っている力を活用しようという考え方になってきた経典が、「大孔雀呪王経」とか「阿吒薄俱経」であります。

最後にCは、旃陀羅に対する救済というか、成仏の問題が取り上げられています。旃陀羅こそ成仏を得るんだという考え方が後期の密教経典の中に出てくるわけです。インドで見捨てられたロー・カーストの人々を救済出来るのはこの教え、タントリズムなんだということ、ハッキリ打ち出していく。

そこには、社会組織の中で見捨てられた階級、この人達に手を差しのべて、仏教というもの、の恩恵をわかつて、一緒にやっというふうな姿勢が、あるということなんです。

Guhyasamajjaの中に「旃陀羅族とか笛作り等や、殺生を目的として利を求めた人たちは、無上なる大乘の中でも、まさにこの最上乘において成就を得る」という表現があります。「無間業をもつ人たち、大罪を犯した人たちもまた、大乘の大海の中でも、この仏乘において成就を得る」と。

底辺で見捨てられて、どうしても救えない

者、倫理的に非常に非難を受けるような行為

をする人、そのものを救うのはGuhya-samajjaなんだ、という考え方が、サンスクリットから直訳すると出てきます。ところが中国にいくと、こういう思想は理解されない。倫理・道徳で宗教を考えてしまいますと、こういうとんでもない事をいう宗教は、けしからんという事になってくるわけです。このサンスクリットを「たとえ世間の旃陀羅及び悪類、常に殺害を起すとも、もし浄信解を以て秘密を修すれば」と訳している。これは猛烈なまやかしであるわけです。中国に来ると、中国のしきたりの中で理解しようとして、表現が変わってしまった例です。

インドの後期密教は、ヒンドゥー社会、バラモン社会からはみ出したものを、仏教の中に組み入れて、救っていかうという流れを、ハッキリ出すようになって来ている。十一世紀、十二世紀の成就者（シツダハ悟りを得た人）の中には、シャバリーとかマータンガーとか、辺境民族出身者の名前が出てきます。有名な阿闍梨の名前に、そういうアウト・カーストの人達が、どんどん入りこんでいくようになってきたわけです。

以上のように、密教経典の中の旃陀羅というものは、一つのパターンで律しきれない、いろいろな要素を含んでいるといえます。

# 第34回全日本仏教徒会議大阪大会

〈テーマ〉 **いま ともしびを!!** —現代社会の繁栄と荒廃—

## 開催せまる

第三十四回全日本仏教徒会議大阪大会は、来たる九月十一日の開催に向けて、着々と準備が進められています。

春見文勝本会会長が大会総裁を務める、このたびの大会には、各宗派・都道府県仏教会から、多数の代表者が出席する予定です。

大阪ではちようど「花と緑の博覧会」も開催されており、加盟団体から一人でも多くの方が参加されますよう、お申し込みをお待ちしています。

日時 九十年九月十一日(火) 正午より  
会場 大阪フェスティバルホール  
内容 正午からの「式典」に引きつづいて、午後一時三十分からは、大谷光

真師(西本願寺門主)の記念法話、津本陽氏(作家)の記念講演が行われます。その後、津本氏の他、金岡秀友師(東洋大学教授)、松林宗恵師(映画監督)、さだまさし氏(歌手)によるシンポジウムが開催されます。

なお、午後六時から、全日空シエラトンホテルで、記念祝賀パーティーが開かれます。

〈参加申込〉 大阪市浪速区元町一―十一―三十三 鉄眼寺内 第三十四回全日本仏教徒会議大阪 大会事務局 ○六一六四九―四六九三まで

一九九〇年八月一日発行  
八月号 第三六〇号

発行人 石上智康

発行所

財団法人 全日本仏教会

〒一〇五

東京都港区芝公園四―七―七五  
電話 〇三三四三二七九二七五

映像でつづる

# 昭和の記録

私たちが生きてきた昭和がいまもここに魅える。

全32巻

ビデオカセット「昭和の記録」は……

- 「昭和」の全貌を見る(昭和の全集)
- 昭和史の基本資料の決定版
- ドキュメントによる(昭和史体系)
- 音と映像で昭和史を追体験できる。
- 図書館、学校の資料(昭和百科事典)として最適
- 幅広く、ご家庭で活用できる知的財産

ビデオカセット (VHSテープ) 定価329,600円 (税込価格)

お申込み・お問い合わせは (写真資料集・豪華木製キャビネット付)

**東宝ファミリークラブ** 〒151 東京都渋谷区代々木一丁目19番5号  
☎03(320)3311代 FAX.03(320)0508  
全仏係 日曜・祭日・第1土曜日を除く AM10:00~PM6:00

このビデオカセットは、通信販売のみとなっております。詳しい資料をご希望の方は、資料請求書を裏面に貼って住所・氏名・電話番号・職業・年齢をご記入のうえ右記住所宛お申し込み下さい。

資料請求券 「昭和の記録」 全仏